運営状況概要書

(株2)

法人名：

株式会社 玉川サービス

設立年月日 平成3年10月22日

1 法人の概要													
代表者職氏名	代表取締役社長 田口 知明		資本金	10,000千円		県出資等額及び比率	5,000千円 (50.0%)		所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課			
設立目的	秋田県のリゾート構想に基づき、玉川重点整備地区に民間宿泊施設及び自然公園施設が整備されることから、地区内の県有基盤施設の維持管理や給排水・給排湯施設の整備運営等を目的に、秋田県、仙北市、進出企業の出資により平成3年10月設立。												
事業概要	新玉川リゾート地区進出企業に対する玉川温泉の源泉供給管理及び給排水施設の運営管理、県営施設の指定管理等												
関連法令、県計画	「北緯40度シーズナルリゾート秋田」計画（指定区域）												
役員数 (R6.7.1現在)	理事		監査役		評議員		計		職員数 (R6.4.1現在)	正職員	出向職員	臨時・嘱託	計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤				1	1
※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧（内数）で表示。													

2 法人の行動計画(令和4～7年度)										
県関与のあり方	継続	経営状況	安定	取組の方向性	・安定的経営の継続					
目標	新玉川地区温泉事業者の安定的な経営のため、事業者への滞りない給排水事業等を実施する。									
取組	○温泉事業者への滞りない給排水事業等を実施するため、施設設備について随時修繕計画の見直しを行い、計画に基づいた修繕を実施する。また、修繕費用の積立を継続し、経営の安定を維持していく。 【R4年度】浄水場ソーダ灰注入器交換を行う。 【R5～7年度】修繕計画書に基づき、施設の適正な維持管理を実施する。									

3 財務														
①損益計算書 (単位:千円)					②貸借対照表 (単位:千円)					<主な経営指標>				
区 分	令和4年度	令和5年度	区 分	令和4年度	令和5年度	項目	令和4年度	令和5年度	増減※					
売上高	28,656	28,853	流動資産	27,585	26,542	経常収支比率 (経常収益÷経常費用)	100.8%	101.6%	+0.8					
売上原価			固定資産			流動比率 (流動資産÷流動負債)	182.8%	192.9%	+10.2					
売上総利益	28,656	28,853	資産計	27,585	26,542	自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)	45.3%	48.2%	+2.9					
販売費及び一般管理費	28,426	28,389	流動負債	15,092	13,757	有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)								
人件費(売上原価含む)	5,511	5,447	短期借入金			※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。								
営業利益(損失)	230	464	固定負債			<退職給与引当状況(単位:千円)>								
営業外収益	1	1	長期借入金			要支給額	引当額	引当率(%)						
営業外費用	1	1	負債計	15,092	13,757	0	0	-						
経常利益(損失)	230	464	資本金	10,000	10,000	※要支給職員なし。								
特別利益			利益剰余金等	2,493	2,785									
特別損失			純資産計	12,493	12,785									
法人税、住民税・事業税	119	173	負債・純資産計	27,585	26,542									
当期純利益(損失)	111	291												
③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く) (単位:千円)														
区 分	令和4年度	令和5年度	支出目的等											
年間支出														
年度末残高														

法人名：

株式会社 玉川サービス

I 自己評価	
<p>1 行動計画における目標及び取組の達成状況</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修繕計画書に基づく、施設の適正な維持管理 ：浄水場原水濁度計交換ほか、作成した計画書に基づき修繕を実施。 (前年度：浄水場ソーダ灰注入器交換ほか) ○ビジターセンター入館者数：7,027人(前年度：7,039人) ○ビジターセンター顧客満足度：83.3%(前年度：88.5%) <p>【自己評価】</p> <p>○目標設定した浄水場原水濁度計の交換のほか、修繕計画に含まれている機械に優先順位をつけて調整し運営に支障なく実施できた。</p> <p>○ビジターセンターの入館者数は、4月～6月は前年度と同程度の入館者数だったが、7月に秋田県内を襲った豪雨に伴う通行止めによる宿泊キャンセルの発生や9月～10月の土日祝日の天候不良の割合が多かったことから前年度並みとなったため、法人の目標である8,500人に対して82.7%の達成となった。</p>	<p>2 経営状況</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○営業収入：28,853千円(前年度：28,656千円) ○経常利益：464千円(前年度：230千円) ○当期純利益：291千円(前年度：111千円) <p>【自己評価】</p> <p>○営業収入は徴収単価を146円/1㎡から151円/1㎡に上げたことから、前年に比べ197千円の増収となった。</p> <p>○当期純利益は引き続き黒字となったほか、借入金、累積損失もなく、経営状況は安定している。</p> <p>○会社の規模から、施設設備の修繕費の多寡が経営状況に影響を与えるため、引き続き計画的な修繕を行う必要がある。</p>
評価	A
II 所管課評価	
<p>1 行動計画における目標及び取組の達成状況</p> <p>【所管課評価】</p> <p>○計画に基づいて修繕を実施しているほか、ビジターセンター来場者数においては7月の豪雨災害による影響があったにもかかわらず、前年度並みの入館者数を確保するなど、概ね目標を達成している。</p>	<p>2 経営状況</p> <p>【所管課評価】</p> <p>○借入金や累積損失もなく、経常収支比率も100%以上であり、安定した経営状況である。</p>
評価	A
III 委員会評価	
<p>総合評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>法人全体の取組・運営状況に関するコメント</p> <p>○当期純利益が黒字となっていることから、安定した経営状況であると評価できる。</p> <p>○引き続き、計画的に修繕に取り組むことにより、自己資本の積み増しを図ってほしい。</p>
<p>【委員からの提言】</p> <p>○ビジターセンターの入館者数は前年度と同程度である一方で、玉川温泉地区の観光客数が前年度から増加していることから、改善の余地があると考えられる。各温泉施設との連携を強化するなど、今後の取組に期待する。</p>	
委員会評価を踏まえた対応方針	
<p>法人の対応方針</p> <p>○団体宿泊客の利用が増えたことで玉川温泉地区の利用者数が増加したものの、館内展示の目玉であるプロジェクトマップが故障していること等によりビジターセンター入館者数の増加につながらなかったことから、同設備の復旧に向けて所管課である県自然保護課と引き続き調整を行うとともに、宿泊施設でのパンフレット配布等を積極的に実施することで入館者数の増加に努めていく。</p>	<p>所管課の対応方針</p> <p>○安定した経営状況を維持し、計画的な修繕等を含めた施設管理に努めさせるほか、事業者への滞りない給排水事業等を継続していくよう働きかける。</p>